

2015年1月4日(日)放送

総合 午後10時05分～11時18分

のんびりゆったり路線バスの旅 ふたり旅スペシャル

「東北・海岸線に笑顔の花が咲く～岩手・宮城・福島～」

【お問い合わせ情報・八重の桜チーム】

「福島県福島市～宮城県石巻市」

南の福島市をスタートするのは、大河ドラマ「八重の桜」の会津藩士・広沢富次郎役の岡田義徳さんと、会津藩士の妻・山川登勢を演じた白羽ゆりさん。岡田さんは岐阜出身、白羽さんは福島出身です。南相馬では千年以上続く神事・野馬追を愛する皆さんと出会い、マグロの町・塩釜では絶品のお寿司に舌鼓。石巻の北上川沿いでは復興への願いを込めてガーベラを育てる人々と出会います。ふるさとへの思いを胸に、ひたむきに暮らす皆さんの優しさに触れて、心がほっこりと温まった旅です。



白羽ゆりさん 岡田義徳さん



バスを乗り継ぎ福島から宮城へ

〈旅程〉

〔1日目〕

① 福島駅東口→南相馬市役所(福島交通・所要時間97分)

11月初め、福島駅前から旅を始めた2人は、沿岸部へ向かうバスに乗り込みます。バスは峠を越えて海沿いの町・南相馬に到着。町の中心部を散策していると、騎馬武者の看板を発見します。それは千年以上の歴史を誇る神事・相馬野馬追。自前の甲冑に身を包んだ地域の人々が、背中に旗指物(はたさしもの)を背負い、迫力ある甲冑競馬や神旗争奪戦などを繰り広げます。

2人は、旗指物を作る町唯一の職人さんを訪ねました。西内清実さんの元には、震災後、地元を離れなければならなかった人たちから注文が相次いでいるといいます。旗の図柄は、代々受け継いだ家々の誇りです。ふるさとへの深い思いが込められた旗を、西内さんは、奥様の久子さんと共に一つ一つ丁寧に仕上げていました。



さらに2人は、野馬追に魅せられ、若い頃から毎年出場している方に会いに行きました。佐藤徳(いさお)さん。震災後は、一時、馬を北海道に避難させ、離れ離れの生活を送りました。再び手元に戻した今は、来年の野馬追を楽しみに馬の世話に励む日々です。



大切な馬に、白羽さん乗せていただきました。愛情いっぱい育てられている‘マキバスナイパー’、大人しくてとてもいい子でした！

② 原ノ町駅→相馬駅(JR常磐線・岩沼・仙台方面:所要時間17分)

③ 相馬営業所～松川浦(福島交通・松川浦原釜循環線:所要時間13分)

南相馬から相馬への路線バスの便は、土曜日は運休。ということで電車で向かいました。沿岸部に来たものの、まだ海を見ていないことに気づいた2人。白羽さんが幼い頃に行ったかも知れない…?という海へバスで行ってみることに。沿岸を走るバスは、津波で大きな被害を受けた地域を走ります。4年近く経つ今もまだ残る震災のつめ跡に、災害の大きさを改めて感じます。

※南相馬から相馬への路線バスは、平日は、福島交通のバスが運行されています。



たどり着いたのは、波穏やかな美しい入り江・松川浦。2人は、松川浦沿いで営業中の海鮮市場を訪ねました。マガレイやミズダコなど地元で揚がった魚を並べ、元気にお客さんを迎えていました。かつてはカレイなどを炭火で焼き、松川浦一帯で販売していたというお話しに、白羽さんも幼い頃、その炭火焼を食べたことがあると思ひ出します。思いがけない出会いで懐かしい記憶がよみがえりました。

津波で被災されましたが、同じ場所に再建。松川浦を盛り立てようと奮闘されています。



④ 相馬駅～新地駅(JR常磐線代行バス・亘理駅行:所要時間21分)

相馬駅からは、復旧中のJR常磐線の代行バスで北へ向かいます。新地町を走るバスの車窓から、‘しんち市場’の文字を発見。(松川浦の海鮮市場みたいに美味しいものがある?)とワクワクしながら途中下車。

市場は、地元の農産物がいっぱいの農産直売所でした。特産の「いちじく」を発見。この地域では、いちじくを煮て食べるとか！産直オリジナルのアイスも、‘いちじくの甘露煮’入り。珍しいなあと思っていると、いちじく生産者の石田功一さんと出会いました。いちじくも珍しいけどもっと珍しいものがあるんだ！と、石田さんは2人をご自宅へ案内してくださいました。



そこで見せていただいたのは、「アルプホルン」！3m40cmもあるアルプスの楽器です。元旦、町にある鹿狼山(かろうさん)で高らかに新年を祝いたい。見つけ出したのがアルプホルンでした。「鹿狼アルプホルン倶楽部」の仲間たちとともに活動して10年、楽器を手作りし、山で吹き、町を元気にしています。遠くアルプスを思わせる牧歌的な音色、思いもよらない素敵な皆さんとの出会いに、岡田さんも白羽さんも、忘れられない思い出をいただきました。



ご自分で描いた絵や撮影した写真で、それぞれの楽器を素敵に装飾されていました！



〔2日目〕

- ① 仙台駅前～岩切駅(仙台市営バス・岩切駅行:所要時間30分)
- ② 岩切駅前～利府駅前(利府町民バス・加瀬沼行:所要時間:36分)
- ③ 利府駅前～塩釜神社前(ミヤコーバス・塩釜営業所行:所要時間17分)

2日目は仙台駅前を出発。集落をきめ細かく走るバスを乗り継いで、北上しながら再び沿岸をめざします。



乗り換え地点の仙台・岩切で、偶然お会いした農家のご夫婦から、大根やジャガイモをいただいた2人。後日、白羽さんをご自宅で料理、おいしくいただきました！



たどり着いたのは、仙台の北にある大きな港町・塩釜。地元の人におすすめされ2人が訪ねたのは、鹽竈(しおがま)神社。1200年の歴史があると言われ、東北を代表する神社の一つです。

202の石段を上った先にある境内は、可愛らしい子供たちでいっぱい。ちょうど11月、七五三のお参りが行われていました。安産の神様として知られている塩釜神社。無事の出産や子供の成長を祈るお参りが、古くから盛んでした。震災の年に生まれた子も3歳を迎え、きれいな着物を身にまとい、ご家族の笑顔に包まれていました。旅人2人も、子供たちの健やかな成長を願い、塩釜さまに手を合わせました。



- ④ 本塩釜駅前～魚卸市場前(しおナビ100円バス・北回り:所要時間10分)

本塩釜の駅前で、2人は、郵便ポストの上にちょこんとのったマグロ像を発見。塩釜名物のマグロを食べに行こう！と海に向かうバスに乗りこみました。元潜水夫だったというおじいちゃんと楽しくおしゃべりしているうちに、バスは魚市場のある港に到着。

市場近くのお寿司屋さんに飛び込んだ2人がいただいたのは「メバチマグロ」。秋から冬にかけて三陸東沖で獲れるメバチは、脂がのってそれは美味しいそう。とろけるような甘みに言葉もなく、ただただ顔がほころぶ2人なのでした。



マグロの他にも塩釜自慢の

味をいただきました！

お店は、親方の黒沼亨さんご夫婦と娘さん2人で営んでいらっしやいました。長女のちぐさんは震災後にご結婚されたそうです。震災後も変わらず浜の味を守り続ける明るいご家族に、お腹も心も満たされました。



⑤ 塩釜～松島(丸文松島汽船・定期遊覧船:所要時間50分)

⑥ 松島海岸駅～矢本駅(JR仙石線代行バス:所要時間42分)

⑦ 矢本駅～石巻駅(JR仙石線:所要時間15分)

※塩釜から松島までは定期遊覧船で移動しました。日本三景を誇る松島、震災で被害を受けた島もありましたが、その美しさは変わることなく、たくさんのお客さんを迎えていました。2人も乗り合わせた全国からの観光客の皆さんとともに、松島湾めぐりを楽しみました。

※さらに、松島から石巻までは、復旧中のJR仙石線の代行バスと、再開した鉄路を乗り継いで向かいました。



〔3日目〕

3日目、2人は町の中心部にある日和山(ひよりやま)にのぼりました。山頂には鹿島御児神社があり、周辺は公園になっています。地域の皆さんが集まり憩う場所だった山は、震災当日多くの人々の避難場所になりました。いつもと変わらない静かな朝を迎えていた公園からは、復興が進む石巻市内が一望できました。その街をやわらかな朝日が照らしていました。



① 石巻駅前～上品の郷(ミヤコーバス・飯野川行:所要時間:36分)

② 上品の郷～桃生総合支所(桃生地区住民バス・桃生総合支所行:所要時間:27分)

旅の終わり、2人には行ってみたかった場所がありました。バスを乗り継いで石巻を北へ。内陸の桃生(ものう)地区へ向かいました。



北上川に抱かれた豊かな農村地帯をゆく

冷たい風が吹く農道を歩いて目指したのは、大きなハウス。中に入った2人は、鮮やかな光景に驚きます。咲き誇っていたのは、石巻特産のガーベラ。2人は、復興支援ソング「花は咲く」の映像に用いられ、震災後にたびたび目にしてきたガーベラが石巻で育てられていると聞いて、訪ねてみたかったのです。



西條弘悦さんご一家は、三世代でガーベラ作りに励んでいます。町が津波の被害を受けて色を失った時、ガーベラの美しさに心が和んだ、とたくさんの方に言っていたそうです。今も花を見に近所の人々が立ち寄り、ハウスは自然と集まる場所になっています。‘希望’の花言葉を持つガーベラ。外は寒いけれど、心がほっこり温まった旅の終わりでした。



【問い合わせ】

〈利用したバス〉

- ・福島交通(株)福島支社(福島駅東口～南相馬市役所) 024-535-4102
- ・JR東日本お問い合わせセンター(原ノ町駅～相馬駅) 050-2016-1600
(相馬駅～新地駅)
(松島海岸駅～石巻駅)
- ・福島交通(株)相馬営業所(相馬営業所～松川浦) 0244-36-2171
- ・仙台市交通局案内センター(仙台駅前～岩切駅) 022-222-2256
- ・利府町企画課まちづくり推進班(岩切駅前～利府駅前) 022-767-2113
<http://www.town.rifu.miyagi.jp/www/contents/1205204418505/>
- ・宮城交通(株)(利府駅前～塩釜神社前) <http://www.miyakou.co.jp/top.php>
(石巻駅前～上品の郷)
- ・塩釜市役所市民総務部政策課(本塩釜駅前～魚卸市場前) 022-364-1111
- ・丸文松島汽船(株)(塩釜～松島) 022-365-3611
- ・桃生交通(上品の郷～桃生総合支所) 0225-76-2205

〈そのほかの問い合わせ先〉

- ・南相馬観光協会(南相馬市内の観光情報) 0244-22-2114
<http://www.minami-soma.com/kanko/>
- ・相馬市観光協会(相馬市内の観光情報) 0244-35-3300
- ・塩竈市観光物産協会(塩竈市内観光情報) 022-364-1165
<http://kankoubussan.shiogama.miyagi.jp/>
- ・塩竈市観光物産案内所(本塩釜駅前の案内所) 022-362-2525
- ・石巻観光協会(石巻市内の観光情報) 0225-93-6448

※番組で訪ねた石巻の情報に関しては、日和山のみ対応可能です。

※石巻のガーベラは市場に出荷され、個人への直接販売は行われていません。